

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第29週の発生動向

全数報告の感染症 (29週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例。
- 4類感染症：報告無し。5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	女	肺結核	発熱
		都城	80歳代	女	肺結核	呼吸困難
		日南	60歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	水様性下痢、血便、O1(VT1産生)
		日南	60歳代	女	無症状病原体保有者	O103(VT1産生)
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	延岡	70歳代	男	—	術後創部感染症 菌種: <i>Enterobacter cloacae</i>

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は665人(定点当たり20.9)で、前週比76%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎とヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【伝染性紅斑】

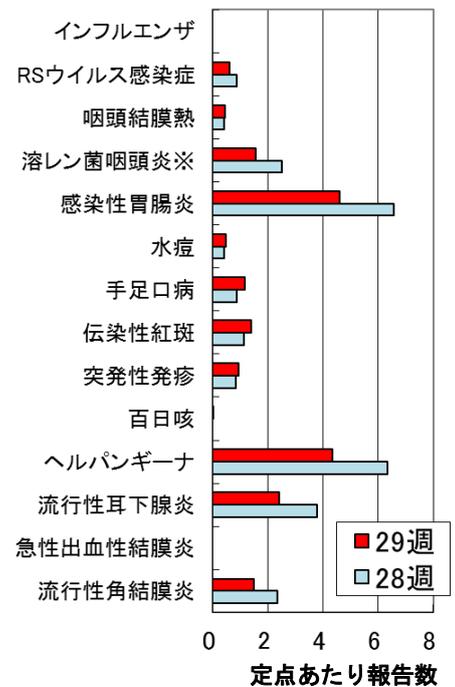
・報告数は50人(1.4)で、前週比122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.38)の約3.7倍であった。小林(6.3)、高鍋(2.3)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

【ヘルパンギーナ】

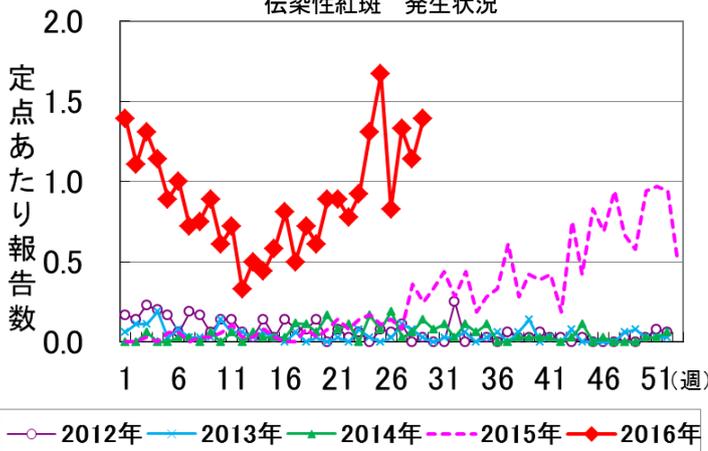
・報告数は156人(4.3)で、前週比68%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.2)の約0.7倍であった。日南(12.0)、中央(8.0)、都城、日向(各4.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

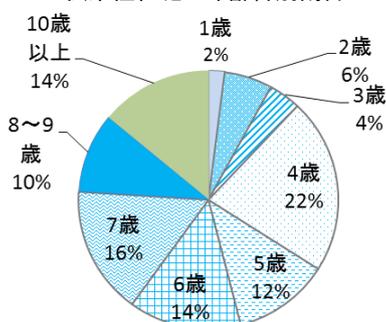
《前週との比較》



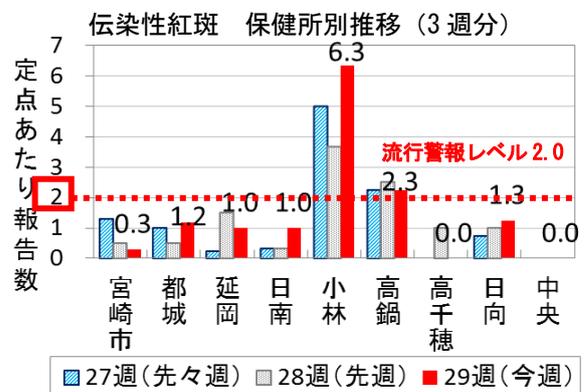
伝染性紅斑 発生状況



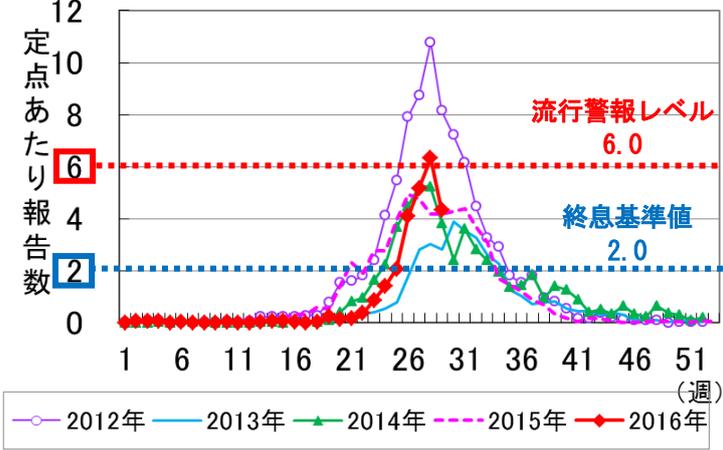
伝染性紅斑 年齢群別割合



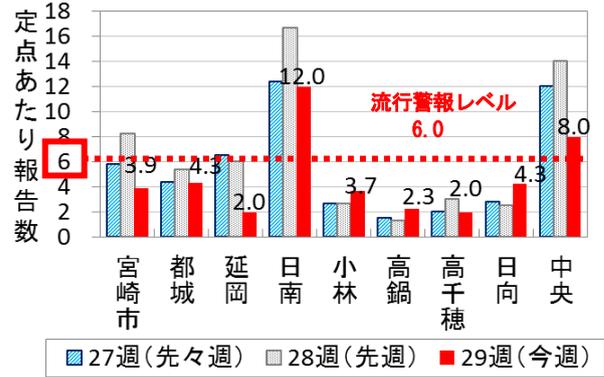
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：都城保健所から1例報告があった。0～4歳であった。
- マイコプラズマ肺炎：日南、高鍋(各3例)、延岡(2例)、日向(1例)保健所から報告があった。0～4歳が3例、5～9歳、10歳代が各2例、20歳代、30歳代が各1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(3.5)
日南	ヘルパンギーナ(12.0)
小林	伝染性紅斑(6.3)、流行性耳下腺炎(5.0)
高鍋	伝染性紅斑(2.3)、流行性耳下腺炎(3.5)
高千穂	なし
日向	流行性耳下腺炎(7.3)
中央	ヘルパンギーナ(8.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

🇯🇵 全国 2016 年第 28 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 28 週)

1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核	357 例
3類感染症	細菌性赤痢	1 例
4類感染症	E型肝炎	5 例
	日本紅斑熱	4 例
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例
	急性脳炎	7 例
	後天性免疫不全症候群	7 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	13 例
	播種性クリプトコックス症	2 例
	麻疹	3 例
	腸管出血性大腸菌感染症	119 例
	A型肝炎	4 例
	マラリア	1 例
	ウイルス性肝炎	7 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	ジアルジア症	1 例
	水痘 (入院例)	3 例
	破傷風	5 例
	デング熱	8 例
	レジオネラ症	33 例
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	梅毒	51 例
	風しん	5 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106%とやや増加した。前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 3,978 人(1.3)で前週比 105%とやや増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.57)の約 2.3 倍であった。宮崎県(3.8)、佐賀県(3.0)、鹿児島県(2.6)からの報告が多く、年齢別では 4～5 歳が全体の約 3 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 12,712 人(4.1)で前週比 129%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.4)の約 1.2 倍であった。三重県(9.4)、愛媛県(7.2)、静岡県、滋賀県(7.0)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第29週(7月18日～7月24日)

疾病名		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	31	22	11	1	1	3		6			
	定点あたり	0.86	0.61	1.10	0.17	0.25	1.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	16	2	1	5	4	4				
	定点あたり	0.42	0.44	0.20	0.17	1.25	1.33	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	90	56	19	4	4	9	3	8	3	6	
	定点あたり	2.50	1.56	1.90	0.67	1.00	3.00	1.00	2.00	3.00	1.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	236	165	44	18	6	19	30	10	3	24	11
	定点あたり	6.56	4.58	4.40	3.00	1.50	6.33	10.00	2.50	3.00	6.00	11.00
水痘	報告数	15	17	9	1	4	1		2			
	定点あたり	0.42	0.47	0.90	0.17	1.00	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	31	42	14	2	4	8		2		12	
	定点あたり	0.86	1.17	1.40	0.33	1.00	2.67	0.00	0.50	0.00	3.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	41	50	3	7	4	3	19	9		5	
	定点あたり	1.14	1.39	0.30	1.17	1.00	1.00	6.33	2.25	0.00	1.25	0.00
突発性発しん	報告数	30	34	14	6	3	3	1	3		4	
	定点あたり	0.83	0.94	1.40	1.00	0.75	1.00	0.33	0.75	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	228	156	39	26	8	36	11	9	2	17	8
	定点あたり	6.33	4.33	3.90	4.33	2.00	12.00	3.67	2.25	2.00	4.25	8.00
流行性耳下腺炎	報告数	136	87	5	9	14		15	14	1	29	
	定点あたり	3.78	2.42	0.50	1.50	3.50	0.00	5.00	3.50	1.00	7.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	9	7	2							
	定点あたり	2.33	1.50	2.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	9	9			2	3		3		1	
	定点あたり	1.29	1.29	0.00	0.00	2.00	3.00	0.00	3.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～29週)

2類感染症	結核	114例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(2)				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	6例	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例(1)
	急性脳炎	8例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	5例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	1例				

()内は今週届出分、再掲